

親切運動の取組について

学校名 入善町立桃李小学校
児童数 137名

1 親切運動の取組の紹介

(1) 挨拶運動

6・10月の挨拶週間では、地区の縦割り登校班で挨拶運動を行い、全校で挨拶に取り組んだ。挨拶週間以外にも挨拶運動を企画して、たくさんの挨拶ボランティアが参加した。笑顔でさわやかな挨拶が学校中に響き渡り、温かな雰囲気にも包まれた。来校者にも進んで挨拶する子供が増え、桃李っ子の元気な挨拶が広がっている。



(2) 友達のいいところ見つけ運動

木曜日の朝活動には、各学年で「いいところタイム」の取組をしている。友達のいいところをカードに書いたり伝えたりすることで、友達とのつながりが広がり、温かい気持ちになっている。また、みんなが安心して仲よく学校生活を送ることができるよう、企画委員会を中心に、年間を通して、人権や思いやりに関する集会等を企画している。



(3) 環境整備活動

学校は自然に囲まれ、たくさんの木や花が植えられている。美しい自然を守るため、今年度も環境委員会やボランティアの子供たちが毎日、落ち葉掃きや草むしりをしている。また、毎週木曜日には縦割り班で外清掃も行っている。さらに、保護者や地域の方々も春と秋には環境整備に力を貸してくださり、桃李っ子は気持ちよく安全に、グラウンドやはなまる広場等で遊ぶことができている。



(4) 地域との交流

1年「年長児との交流会」、2年「地区探検」、3年「社会科見学」、4年「地域の環境問題」、5年「入善町地場産野菜を使ったのスープづくり」、6年「保育所訪問」等の学習を通して、地域を知り、地域に触れ、地域に貢献できることは何かを考え、学習している。また、発信力を高め、実践成果を校外に発信することを通して、地域で生きる一員として他を思いやりながら生活していく意識を高めている。



2 親切運動に取り組んで

縦割り活動を通して、異学年交流が盛んになり、相手を思いやる言動が増えた。それぞれの活動において、目的を明確にしたことで、子供がアイデアを出し合いながら活動することができた。同じ活動を繰り返しては活動が停滞するので、子供と新たな取組を考え、実践していきたい。